

# 「わたしのお願い」

小4学級活動（11月）授業実践プログラム2

## 1 題材設定の理由

### (1) 活動内容・項目

- ☆ 主たる内容・項目
  - 〈(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること〉
    - 望ましい人間関係の育成
- ★ 関連する内容・項目
  - 〈(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること〉
    - 学級や学校における生活上の諸問題の解決

### (2) 題材設定の背景及び児童の一般的な実態と現状

子ども達は、日常場面で、友達の援助を必要とする事態にしばしば直面する。このとき、気軽にお願いをして事がスムーズにいく場合と、お願いすることができずに、一人で問題を抱え込んで行動ができなかったり、声をかけられるのを待っていたりして現状が進まない場合がある。お願いをすることで、仕事が速くスムーズに気持ちよく終わることができることはもちろんであるが、何よりもそこに友達同士のコミュニケーションができて人間関係を円滑にし、深めていくことに、大きな意義があると考える。しかし、実際には、お願いする場面ができた時に、頼み方が未熟だったために相手に伝わらなかったり、高圧的な態度で臨んでかえって反感を持たれたりすることが学級の中でしばしば見られる。

そこで、どんなお願いの仕方をして自分の気持ちが相手に伝わり、相手が気持ちよく手伝いをしてくれるかを考えさせ、練習しながら習得させたい。加えて、上手なお願いをすることでよりよい人間関係を作っていくきっかけとしたい。

### (3) 指導法・指導上の留意点

- ① プランターを運ぶ手伝いをお願いする場面を取り上げ、どんなお願いの仕方したら相手に伝わるのかを共通に考えさせる。
- ② ソーシャルスキル・トレーニング（※1）の考えを取り入れた行動リハーサルを取り入れ、最初は各自でどんなセリフを言ったらよいかを考えさせ、実際に2人組でロールプレイをさせる。その上で、よりよいお願いの仕方をするために教師が視点を与えた後、修正を加えさせ再度ロールプレイをさせる。最後に、2人組のペアから4人組にしてロールプレイを行い、お互いに観察・評価をし、上手なお願いの仕方について考えさせる。

※1 「良好な人間関係をつくり保つための知識と具体的な技術やコツを体験を通して身につけること」

## 2 指導目標

- (1) 相手の気持ちや立場を尊重しながらお願いする方法を体験し理解を深める。
- (2) お願いを聞き入れてもらえることのありがたさを感じることができる。

## 3 指導計画

### (1) 事前・事後指導

〈事前指導〉一朝の会 ; 学校生活の中でどんな頼みごとをした経験があるか、反対に頼みにくいことは何か等の実態把握をする。

《本 時》一学級活動 ; 「私のお願い」の授業を実施する。

〈事後指導〉一朝の会 ; 日常生活の場面で、実際に上手にお願いの仕方をした場合を取り上げて紹介する。

### (2) 教科指導等との関連

道徳 ; 友達関係や親子関係でのテーマに生かす。

#### 4 指導案 (1) 指導過程

本時のねらい	① 相手の気持ちや立場を尊重しながらお願いする方法を体験し深める。 ② お願いを聞き入れてもらえることのありがたさを感じることができる。		
展開	活 動 の 内 容	指 導 上 の 留 意 点	評 価 ・ 資 料
導 入 (5分)	1 本時のねらいを理解する。 ・お願いをするときにどうしたら気持ちよく引き受けてもらえるかという問題意識をもつ。	○ 前回の上手な断り方(授業実践プログラム1)を思い出させ、「お願いする場面」でも自分も相手も大切にしたい頼み方を使って学習することを意識づける。	
展 開 (35分)	2 場面設定をとらえる。 先生から、昼休み中にプリンター18個を花壇から玄関まで運ぶように頼まれた。一人ではとても運べそうにない状況である。一緒に運ぶのを手伝ってほしい場面 (1) 先生に運んでほしいと言われたときの気持ちを考える。 3 「お願いする場面」の練習をする。 (1) ワークシートにお願いする文を書く。 (2) ペアで練習する。 <1回目> (3) ワークシートに修正する。 (4) ペアで練習する。 <2回目> (5) 4人組になってお互い観察・評価し合う。 4 気持ちのよいお願いの仕方について話し合う。	○ 写真を掲示してプリンターの数や頼まれた状況をとらえさせる。 ○ 先生自身は他の用事があり一緒に運ぶことはできないという条件のもとに考えさせる。 ○ 一人で運ぶのは大変であるということを意識させる。 ○ このプリンターを運んで欲しいと言われたら、どんな気持ちができるか子どもたちの気持ちを取り上げる。 ○ 普段の自分だったらどうお願いするか各自ワークシートに書かせる。 ○ うまく相手にお願いが通じたかどうか話し合う。 ○ お願いに必要な要件として、頼みごとの理由、具体的な要求、してもらえると助かる感謝のことばを入れることを助言し修正させる。 ○ 表情や言葉遣いにも気をつけさせる。 ○ 上手なお願いの仕方をしている児童の例を取り上げ、話し合わせる。	◇ プランターの写真 ◇ ワークシート  【評価1】  【評価2】
ま と め (5分)	5 本時のまとめをする。 ・活動を振り返り、気付いたことや思ったことを「ふりかえりカード」に書く。	○ 日常生活の中で、意識して行えるように意識付けをする。	◇ ふりかえりカード 【評価3】

#### (2) 評価計画 (評価の観点)

評価1	関心・意欲	○ お互いによりよい頼み方をする中で、考えを出し合って練習しようとしたか。
評価2	知識・理解	○ お互いに頼み方を練習することで、自分と相手にとって気持ちのよい頼み方があることに気づくことができる。
評価3	思考・判断	○ 頼む時には、頼みごとの理由、具体的な要求、感謝の言葉を入れてセリフを考えることができたか。

## 5 プログラムの展開例

- ◆ 活動場所 教室
- ◆ 準備物 「プランターの写真」「ワークシート」「ふりかえりカード」

### □ 導入 (5分)

- 1 本時のねらいを理解する。

相手の気持ちや立場を思いやりながら、自分の言いたいことも伝えられるといいよね。  
今日は、「お願いする時」について考えていきましょう。



### □ 展開 (35分)

- 2 場面を提示し、頼まれたときの気持ちを考える。

先生から昼休み中にプランター 18 個を花壇から玄関まで運ぶように頼まれました。

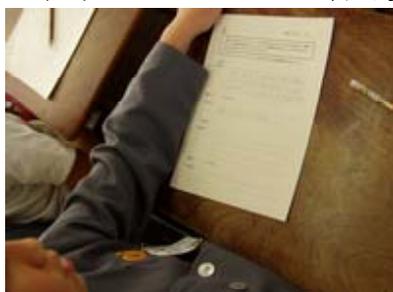


#### [その時の気持ち]

- ◆ いっぱい過ぎる。
- ◆ 一人じゃあ無理だ。
- ◆ やってられないな。
- ◆ 疲れそう。
- ◆ 時間かかるな。
- ◆ 困ったなあ。
- ◆ 重そうだ。
- ◆ どうしようかな。

- 3 「お願いする場面」を練習する。

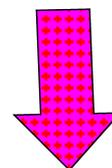
- (1) ワークシートに書く。



- (2) ペアで練習する。< 1 回目 >



基本的にペアで練習する。互いに不足している部分を指摘し合い、よりよいセリフに修正していく。



- (4) ペアで練習する。< 2 回目 >



- (3) セリフを修正する。

#### [修正のポイント]

- ◆ 頼みたいこと
- ◆ 頼みごとの理由
- ◆ してもらったときの気持ち

(5) 4人組で観察・評価し合う。

一人じゃ無理なんだ。  
昼休み中に終わらない  
といけないんだ。手伝  
ってもらえると助かる  
んだけど。



しょうがないな。  
いいですよ。

□ まとめ (5分)

5 本時の活動を振り返り、気づいたことや考えたことを、「ふりかえりカード」に書き、本時のまとめをする。



A：お願いの仕方が分かった。これからは、理由などを言ってから手伝ってもらうようにします。

B：人に何か頼むときには悪い言葉遣いで言わないで、ちゃんと人に頼むような言葉遣いで言わないとだめなんだなと思いました。

6 児童の反応  
(1)「ふりかえりカード」から

- 今日僕は勉強して、相手をお願いする時にはお願いするわけ、お願いすること、お願いして助かる気持ちを入れて話すことが大切だと分かりました。今日の勉強は楽しかったです。
- 今日は友達への頼み方が分かって、次から頼む時に役立ちます。セリフを作ってみて頼みたいこと、頼みごとの理由、してもらうときの気持ちが入ってなくて、つけたしをしたら、いいセリフになったので、お母さんにも聞かせたいと思いました。
- 相手の気持ちを考えることは、とっても難しいけど楽しかった。ちゃんといつ、どこで、何をするかを言えば手伝ってもらえることがよく分かりました。
- 最初は何を書けばいいのか分からなかったけど、だんだん分かってきました。今度このようなことがあったら、こんな風に頼んで見たいと思います。また、やりたいです。
- 今日はお願ひする時の言い方に気をつけるということがよく分かりました。前までは、そんなのはあまり気にしないで言ってたけど、今日の授業をやってこれからは気をつけてお願ひするようになりたいです。
- 相手がちゃんとやってほしいことを言っていたので、相手の気持ちがよくわかりました。
- この活動が楽しくできてよかったです。あとセリフを考えるとというのが楽しかったです。頼んだり頼まれたりするのがおもしろかったです。
- 頼むことは堂々と言えればいいんだなと思いました。それに、3つの条件を覚えてよかったですと思いました。

## (2) 授業者・参観者の観察から

[ 授業者□、参観者○ ]

- ： 場面提示から「お願いする場面」において、2人組みで演じる→ワークシートに修正をかける→2人で演じるという流れはスムーズでよかった。
- ： 初め普段の自分の話し方でセリフを書き、そこに修正をかけて行動リハーサルさせたことで、より相手の気持ちや立場を尊重しながらお願いする方法を身につけさせることができた。
- ： プランターの写真提示による場面設定がよかった。視覚的にも場面の状況が子ども達によく伝わり、つぶやきや発言からも、その課題を解決するための動機付けが高まっていることが分かった。
- ： プランターを運んで欲しいと言われた時の気持ちをしっかり押さえたことで、必然的に助力を頼まざるを得ない状況であることを各自が理解し、セリフを考えていくことができたのがよかった。

## 7 授業者・参観者の感想「□・○」、授業改善の視点「■・●」

- ： お願いをするときの必要な条件として、頼みたいこと、頼みごとの理由、してもらったときの気持ちを入れるというやり方を、子ども達はよく理解して体験できたと思う。子ども達の中には、3つの要素が使える、今後使ってみたいという感想が多かった。ただ、感謝するというねらいまでは至らなかった。
- ： 総合的な学習の時間のねらいの一つとされる「学び方やものの考え方を身につけること」「自己の生き方を考えること」と密接に関連した授業だと思いました。本時のような授業を総合的な学習の時間で年間10～15時間程度位置づけたり、計画したりする必要があると思います。
- ： 今回は頼むスキルだったが、だんだんに断るスキルなど様々なものが学習可能であると思った。こういった活動を重ねていくことで子ども達のコミュニケーションスキルも育っていくのだと思った。
- ： 4人組の振り返りは、ペアを2組合わせたので、単なる繰り返しに終わってしまい、新鮮さに欠けたのではないか。ペアを離すか組み合わせを代えるか、列ごとに代えたりするなどロールプレイのアレンジの仕方も可能ではないか。
- ： 今回のペアは、担任の考えで意図的に男女にしたが、学級の実態によりいろいろなパターンが考えられるのではないか。
- ： ワークシートには、2回セリフを書き直す形であったので、1回目にした上に朱書きで修正をしていく形のほうがより明確に修正した点がわかったのではないか。
- ： 今回は、頼まれる側が「いいですよ」と受け入れることで安心して、次の修正をかけることができたと思うが、頼まれる側が断るバージョンもあるのではないか。より考えてコミュニケーションを取り合う練習となるのではないか。

## 8 関連プログラム・参考文献等

### ◇ 関連プログラム

- ・「人間関係をつくる力を育てる指導援助プログラム（小・中・高等学校編）」  
福島県教育センター教育相談チーム編

### ◇ 参考文献

- ・「ソーシャル・スキル・トレーニング」 渡辺弥生 日本文化科学社
- ・「ソーシャルスキル教育で子どもが変わる 小学校」 国分康孝監修 小林正幸・相川充編著 図書文化
- ・「子どものためのアサーショングループワーク 園田雅代・中釜洋子著  
～自分も相手も大切に作る学級づくり～」 日精研心理臨床センター編

授業「わたしのお願い」

年 組 番 氏名

---

場 面

先生から、昼休みにプランター18こを花だんからげんかんまで運ぶようにたのまれました。短い昼休み時間に、とても一人では時間内に終えることはできません。

友だちに手伝ってもらいたいところです。

どのようにたのんだらいいでしょう。上手にたのむときの言葉を考えましょう。

<1回目>

たのむ人 -----  
-----  
-----  
-----

聞く人 いいですよ。

たのむ人 -----  
-----

<2回目>

たのむ人 -----  
-----  
-----

聞く人 いいですよ。

たのむ人 -----  
-----

